



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場会社名 阪急阪神ホールディングス株式会社

上場取引所 東大

コード番号 9042 URL <http://holdings.hankyu-hanshin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 角 和夫

問合せ先責任者 (役職名) グループ経営企画部 部長(経理担当) (氏名) 東口 和哉

TEL 06-6373-5013

四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	170,740	13.1	28,935	47.4	26,648	21.2	15,305	1.4
24年3月期第1四半期	150,901	△3.0	19,626	△9.5	21,989	21.1	15,101	40.6

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 12,927百万円 (△7.7%) 24年3月期第1四半期 14,005百万円 (103.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	12.14	12.13
24年3月期第1四半期	11.97	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	2,253,174	532,342	23.1
24年3月期	2,274,380	524,801	22.6

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 519,498百万円 24年3月期 513,292百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	670,000	3.1	78,000	5.7	60,000	△8.2	30,000	△23.6	23.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	1,271,406,928 株	24年3月期	1,271,406,928 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	10,299,937 株	24年3月期	10,279,339 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	1,261,118,033 株	24年3月期1Q	1,261,281,495 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は四半期決算短信に添付しています。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(四半期連結損益計算書) .....	7
(四半期連結包括利益計算書) .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
4. 決算補足説明資料 .....	11
(1) 平成25年3月期第1四半期連結累計期間 連結損益の概要 .....	11
(2) 連結損益 .....	11
(3) 連結セグメント損益 .....	11
(4) 阪急電鉄(株) 阪神電気鉄道(株) 運輸成績表 .....	12
(5) 連結貸借対照表 .....	12
(6) 連結有利子負債 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等を背景として、緩やかに回復しつつあるものの、欧州の債務問題や長引く円高、さらには、電力供給に対する懸念等により、先行きは依然として不透明な状況にあります。

この間、当社グループにおきましては、中期経営計画に掲げる目標を達成するべく、グループ経営機能を担う当社の下、中核会社を中心に、各コア事業の競争力強化を図るとともに、コア事業間の連携を通じてグループ総合力の発揮に努めました。

この結果、不動産事業においてマンション分譲戸数が前年同期を上回ったほか、前年同期には旅行事業及びホテル事業を中心に東日本大震災の影響を受けたこともあり、営業収益は1,707億40百万円となり、前年同期に比べ198億39百万円(13.1%)増加し、営業利益は289億35百万円となり、前年同期に比べ93億8百万円(47.4%)増加しました。また、前年同期に持分法適用関連会社に対する持分比率の増加に伴い持分法による投資利益が増加したことの反動等により、営業外収益は減少しましたが、経常利益は266億48百万円となり、前年同期に比べ46億58百万円(21.2%)増加し、四半期純利益は153億5百万円となり、前年同期に比べ2億4百万円(1.4%)増加しました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

#### <都市交通事業>

鉄道事業につきましては、阪急電鉄において、海外からのお客様に向けて阪急全線乗車券「HANKYU TOURIST PASS」を発売し、また、阪神電気鉄道において、南海電気鉄道と共同で、神戸と関西国際空港間のアクセスに便利な「関空アクセスきっぷ(阪神版)」を発売したほか、近畿日本鉄道と共同で、阪神なんば線開業3周年を記念したスタンプラリーを開催するなど、グループ各社において、沿線へのお客様の誘致を目的とした各種施策に取り組みました。

施設面では、阪神三宮駅において、姫路方面からのお客様がコンコース階へ移動することなく近鉄奈良方面行きの列車に乗り換えていただけるよう、線路及びホームの切替工事を実施したほか、阪急梅田駅において、再開発が進む大阪梅田地区の「顔」にふさわしい、洗練された統一感溢れる空間とするため、本格的なりニューアル工事(2014年度末全面竣工予定)に着手するなど、引き続き、鉄道施設の整備・改良を進めています。

自動車事業につきましては、2012年4月に、阪急バス・阪神バス・阪急田園バスの一般路線において、共通のICカード乗車券「hanica(ハニカ)」でのサービスを開始するなど、お客様の利便性の向上を図りました。

これらの結果、運輸収入は阪急電鉄・阪神電気鉄道ともに堅調に推移したものの、鉄道車輛製造業における完工高が前年同期を下回ったこと等により、営業収益は483億65百万円となり、前年同期に比べ91百万円(Δ0.2%)減少しました。一方、営業利益は、減価償却費が減少したこと等から、100億67百万円となり、前年同期に比べ2億65百万円(2.7%)増加しました。

#### <不動産事業>

不動産賃貸事業につきましては、厳しい事業環境の中、グループ各社が保有するオフィスビル・商業施設において、稼働率の維持に注力しながら、管理運営コストの削減に取り組みました。また、大規模開発事業につきましては、「梅田阪急ビル」の建替(阪急百貨店Ⅱ期棟の建設工事等を推進中)をはじめ、「新大阪阪急ビル」や「うめきた(大阪駅北地区)先行開発区域」等の各プロジェクトを鋭意進めています。

不動産分譲事業につきましては、マンション分譲では、近畿圏・首都圏ともに引き続き順調に推移し、大規模タワーマンション「ジオタワー高槻ミュージズフロント」(大阪府高槻市)等を分譲しました。また、宅地戸建分譲では、「阪急宝塚山手台」(兵庫県宝塚市)、「大阪中島公園都市ハピアガーデン四季のまち」(大阪市西淀川区)等の販売を行いました。

これらの結果、マンション分譲戸数が前年同期を上回ったこと等により、営業収益は493億31百万円となり、前年同期に比べ137億56百万円(38.7%)増加し、営業利益は108億68百万円となり、前年同期に比べ41億88百万円(62.7%)増加しました。

#### <エンタテインメント・コミュニケーション事業>

スポーツ事業につきましては、阪神タイガースが、多くのファンの方々にご声援をいただくとともに、阪神甲子園球場では、物販・飲食やファンサービスにおいて、多様な企画を実施するなど、魅力ある施設運営に取り組みました。

ステージ事業につきましては、歌劇事業において、宝塚大劇場・東京宝塚劇場で上演した宙組トップスター退団公演「華やかなりし日々」及び「クライマックス」が特に好評を博しました。また、演劇事業において、梅田芸術劇場で、シェイクスピア作・蜷川幸雄演出の「シンベリン」を上演するなど、話題性のある多様な公演を催しました。

コミュニケーション・メディア事業につきましては、情報通信事業において、お客様にウェブやメール等を快適にご利用いただけるよう、阪神甲子園球場及び阪神電気鉄道の各駅に高速通信が可能な公衆無線LANサービスを順次展開しました。また、ケーブルテレビ事業において、携帯電話とのセットメニューの拡販や長期契約による割引プランの導入等により、加入契約者数を順調に伸ばしました。

さらに、六甲山地区において、「英国&バラフェア ～ピーターラビットと楽しむ六甲山～」を開催するなど、一層の集客に努めました。

これらの結果、営業収益は266億68百万円となり、前年同期に比べ9億91百万円（3.9%）増加し、営業利益は49億49百万円となり、前年同期に比べ6億41百万円（14.9%）増加しました。

#### <旅行・国際輸送事業>

旅行事業につきましては、魅力ある旅行商品の企画と積極的な販売活動に努めたことにより、海外旅行がヨーロッパ、アジア方面を中心に好調に推移し、また、前年度に東日本大震災の影響を大きく受けた国内旅行も、東京スカイツリーの開業効果等で関東方面の集客が増加するなど、順調に回復してきています。

国際輸送事業につきましては、海外法人を中心に、タイの洪水被害からの復旧に伴う緊急輸送の取扱いがあったものの、欧州の景気後退に起因する輸送量の伸び悩み等があり、厳しい事業環境で推移しました。そうした中でも、台湾に拠点を増やしグローバルネットワークの拡充を図るなど、お客様により高品質なサービスを提供できる体制の強化を進めました。

これらの結果、前年同期には旅行事業が東日本大震災の影響を受けたこともあり、営業収益は196億19百万円となり、前年同期に比べ39億70百万円（25.4%）増加し、営業利益は32億28百万円となり、前年同期に比べ36億35百万円改善しました。

#### <ホテル事業>

ホテル事業につきましては、前年同期に東日本大震災の影響から需要が低迷しましたが、順調に回復してきています。

こうした中、千里阪急ホテルにおいて客室の一部改装や宴会場「パオーレ」のリニューアルを行ったほか、好評を得ている「宝塚ホテル」ブランドのドーナツについて、外販拡大を目的として生産設備の増強を行うなど、収益の維持・拡大に向けた取組みを進めました。さらに、ザ・リッツ・カールトン大阪が5月23日に開業15周年を迎え、また、ホテル阪急インターナショナルが11月8日に開業20周年を迎えるにあたり、様々な記念プランを販売するなど、積極的な販売促進活動に取り組みました。

これらの結果、営業収益は160億79百万円となり、前年同期に比べ10億5百万円（6.7%）増加し、営業利益は1億49百万円となり、前年同期に比べ5億61百万円改善しました。

#### <流通事業>

流通事業につきましては、既存店舗の美装等、競争力の強化に向けた取組みを推進したほか、惣菜店「クックデリ御膳 住道店」（大阪府大東市）を新たに出店するなど、店舗網の強化による事業規模の拡大に努めました。また、書籍販売事業の強化・成長を目的として、4月1日付で同事業を分社するなど、より機動的に事業を運営できる体制を構築しました。

これらの結果、営業収益は132億72百万円となり、前年同期に比べ3億6百万円（ $\Delta$ 2.3%）減少しましたが、コスト抑制に努めたこと等もあり、営業利益は5億31百万円となり、前年同期に比べ72百万円（15.9%）増加しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、受取手形及び売掛金が減少したことや、株価の下落等に伴い投資有価証券が減少したこと等により2兆2,531億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ212億5百万円減少しました。負債合計は、有利子負債が減少したこと等により1兆7,208億32百万円と前連結会計年度末に比べ287億46百万円減少しました。また、純資産合計は、利益剰余金が増加したこと等により5,323億42百万円と前連結会計年度末に比べ75億40百万円増加し、自己資本比率は23.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年5月15日発表の予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び一部の連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しています。

なお、この変更に伴う損益への影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	24,280	23,431
受取手形及び売掛金	73,404	61,255
販売土地及び建物	118,415	112,614
商品及び製品	7,219	7,348
仕掛品	4,288	6,993
原材料及び貯蔵品	3,858	3,917
その他	44,070	45,159
貸倒引当金	△251	△299
流動資産合計	275,286	260,423
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	578,925	575,631
機械装置及び運搬具（純額）	47,404	46,544
土地	892,356	892,718
建設仮勘定	131,434	135,857
その他（純額）	18,246	18,786
有形固定資産合計	1,668,366	1,669,538
無形固定資産		
のれん	38,437	38,169
その他	17,157	16,955
無形固定資産合計	55,594	55,125
投資その他の資産		
投資有価証券	227,417	221,101
その他	48,324	47,547
貸倒引当金	△608	△561
投資その他の資産合計	275,133	268,087
固定資産合計	1,999,093	1,992,751
資産合計	2,274,380	2,253,174

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43,410	39,156
短期借入金	316,545	308,287
未払法人税等	4,170	2,650
賞与引当金	3,702	2,760
その他	199,213	186,595
流動負債合計	567,043	539,449
固定負債		
社債	102,000	102,000
長期借入金	720,782	710,093
退職給付引当金	59,194	59,455
役員退職慰労引当金	875	775
その他	299,682	309,058
固定負債合計	1,182,535	1,181,382
負債合計	1,749,578	1,720,832
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	99,474	99,474
資本剰余金	150,027	150,027
利益剰余金	276,059	284,403
自己株式	△4,140	△4,147
株主資本合計	521,421	529,758
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,044	△10,668
繰延ヘッジ損益	△131	△791
土地再評価差額金	2,972	3,511
為替換算調整勘定	△2,924	△2,312
その他の包括利益累計額合計	△8,128	△10,260
新株予約権	32	72
少数株主持分	11,476	12,770
純資産合計	524,801	532,342
負債純資産合計	2,274,380	2,253,174

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
営業収益	150,901	170,740
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	123,048	133,186
販売費及び一般管理費	8,225	8,618
営業費合計	131,274	141,805
営業利益	19,626	28,935
営業外収益		
受取利息	19	16
受取配当金	682	680
持分法による投資利益	6,914	1,712
雑収入	501	503
営業外収益合計	8,118	2,913
営業外費用		
支払利息	5,300	4,914
雑支出	454	286
営業外費用合計	5,755	5,200
経常利益	21,989	26,648
特別利益		
固定資産売却益	0	53
工事負担金等受入額	737	80
保険解約返戻金	520	—
その他	421	59
特別利益合計	1,680	193
特別損失		
固定資産売却損	0	55
固定資産圧縮損	725	77
固定資産除却損	74	45
事業整理損失引当金繰入額	81	2,278
その他	528	231
特別損失合計	1,410	2,689
税金等調整前四半期純利益	22,259	24,152
法人税、住民税及び事業税	1,960	2,599
法人税等調整額	5,042	6,040
法人税等合計	7,002	8,640
少数株主損益調整前四半期純利益	15,256	15,511
少数株主利益	155	206
四半期純利益	15,101	15,305

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	15,256	15,511
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△613	△1,535
繰延ヘッジ損益	△245	△662
為替換算調整勘定	316	689
持分法適用会社に対する持分相当額	△707	△1,075
その他の包括利益合計	△1,250	△2,584
四半期包括利益	14,005	12,927
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,828	12,633
少数株主に係る四半期包括利益	177	294

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

1 前第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

① 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額
	都市交通	不動産	エンタテインメント・コミュニケーション	旅行・国際輸送	ホテル	流通	小計				
営業収益											
(1)外部顧客に対する営業収益	47,218	31,659	24,315	15,625	14,902	13,420	147,141	3,614	150,756	145	150,901
(2)セグメント間の内部営業収益又は振替高	1,237	3,915	1,361	23	172	159	6,870	1,561	8,432	△8,432	—
合計	48,456	35,574	25,677	15,649	15,074	13,579	154,012	5,176	159,188	△8,286	150,901
セグメント利益又は損失(△) (注) 2	9,802	6,679	4,308	△406	△411	459	20,430	△111	20,319	△692	19,626

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設業等を含んでいます。

2 報告セグメントの利益又は損失(△)は、営業利益をベースとした数値です。

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	20,430
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△111
のれんの償却額(注)	△700
その他	7
四半期連結損益計算書の営業利益	19,626

(注) 主な内容は平成18年度の阪神電気鉄道(株)との経営統合により発生したのれんの償却額です。

2 当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

① 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額
	都市交通	不動産	エンタテインメント・コミュニケーション	旅行・国際輸送	ホテル	流通	小計				
営業収益											
(1)外部顧客に対する営業収益	47,178	45,235	25,265	19,618	15,966	13,103	166,367	4,150	170,518	222	170,740
(2)セグメント間の内部営業収益又は振替高	1,186	4,096	1,403	1	112	169	6,970	1,526	8,496	△8,496	—
合計	48,365	49,331	26,668	19,619	16,079	13,272	173,338	5,676	179,014	△8,274	170,740
セグメント利益又は損失(△) (注) 2	10,067	10,868	4,949	3,228	149	531	29,795	△165	29,630	△694	28,935

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設業等を含んでいます。

2 報告セグメントの利益又は損失(△)は、営業利益をベースとした数値です。

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	29,795
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△165
のれんの償却額(注)	△732
その他	38
四半期連結損益計算書の営業利益	28,935

(注) 主な内容は平成18年度の阪神電気鉄道(株)との経営統合により発生したのれんの償却額です。

#### 4. 決算補足説明資料

##### 決算補足説明資料の構成

(1) 平成25年3月期第1四半期連結累計期間 連結損益の概要	(2) 連結損益	(3) 連結セグメント損益
(4) 阪急電鉄㈱ 阪神電気鉄道㈱ 運輸成績表	(5) 連結貸借対照表	(6) 連結有利子負債

##### (1) 平成25年3月期第1四半期連結累計期間 連結損益の概要

不動産事業においてマンション分譲戸数が前年同期を上回ったほか、前年同期には旅行事業及びホテル事業を中心に東日本大震災の影響を受けたこともあり、営業収益及び営業利益はそれぞれ増収・増益となりました。また、前年同期に持分法適用関連会社に対する持分比率の増加に伴い持分法による投資利益が増加したことの反動等により、営業外収益は減少しましたが、経常利益は増益となり、四半期純利益も増益となりました。

##### (2) 連結損益

(単位：百万円、%)

	25年3月期 第1四半期	24年3月期 第1四半期	比較増減	増減率	備考
営業収益	170,740	150,901	19,839	13.1	「連結損益の概要」「連結セグメント損益」をご参照ください。
営業利益	28,935	19,626	9,308	47.4	「連結損益の概要」「連結セグメント損益」をご参照ください。
うち、減価償却費	13,058	13,807	△ 748	△ 5.4	
経常利益	26,648	21,989	4,658	21.2	営業外収益 持分法による投資利益：△5,201百万円 前年同期に持分法適用関連会社であるエイチ・ツー・オー リテイリング㈱に対する持分比率の増加に伴い持分法による投資利益が増加したことの反動等による減少
うち、受取利息及び配当金(A)	697	702	△ 5	△ 0.7	
うち、支払利息(B)	4,914	5,300	△ 386	△ 7.3	
うち、金融収支(A-B)	△ 4,216	△ 4,598	381	8.3	
四半期純利益	15,305	15,101	204	1.4	

##### (3) 連結セグメント損益

(単位：百万円、%)

		25年3月期 第1四半期	24年3月期 第1四半期	比較増減	増減率	備考
都市交通	営業収益	48,365	48,456	△ 91	△ 0.2	鉄道事業において、阪急線・阪神線ともに堅調に推移したものの、鉄道車輛製造業における完工高が前年同期を下回ったこと等により微減収となったが、減価償却費が減少したこと等により増益
	営業利益	10,067	9,802	265	2.7	
不動産	営業収益	49,331	35,574	13,756	38.7	マンション分譲戸数が前年同期を上回ったこと等により、増収・増益
	営業利益	10,868	6,679	4,188	62.7	
エンタテインメント・コミュニケーション	営業収益	26,668	25,677	991	3.9	歌劇事業において、宙組トップスター退団公演が好調であったこと等により、増収・増益
	営業利益	4,949	4,308	641	14.9	
旅行・国際輸送	営業収益	19,619	15,649	3,970	25.4	旅行事業において、前年同期に東日本大震災の影響を受けたことの反動に加え、海外旅行が好調に推移したこと等により、増収・増益
	営業利益	3,228	△ 406	3,635	—	
ホテル	営業収益	16,079	15,074	1,005	6.7	前年同期に東日本大震災の影響を受けたこともあり、増収・増益
	営業利益	149	△ 411	561	—	
流通	営業収益	13,272	13,579	△ 306	△ 2.3	退店及び事業の見直し等により減収となったが、コスト抑制に努めたこと等により増益
	営業利益	531	459	72	15.9	
その他	営業収益	5,676	5,176	500	9.7	建設業等
	営業利益	△ 165	△ 111	△ 54	△ 48.9	
調整額	営業収益	△ 8,274	△ 8,286	12	0.2	
	営業利益	△ 694	△ 692	△ 1	△ 0.3	
連結	営業収益	170,740	150,901	19,839	13.1	
	営業利益	28,935	19,626	9,308	47.4	

## (4) 阪急電鉄(株) 阪神電気鉄道(株) 運輸成績表

		収 入				人 員			
		25年3月期 第1四半期	24年3月期 第1四半期	比較増減	増 減 率	25年3月期 第1四半期	24年3月期 第1四半期	比較増減	増 減 率
阪 急 電 鉄	定 期 外	百万円 15,315	百万円 15,212	百万円 102	% 0.7	千人 78,090	千人 77,564	千人 525	% 0.7
	定 期	7,826	7,729	97	1.3	80,802	79,848	953	1.2
	通 勤	6,570	6,478	92	1.4	53,488	52,736	752	1.4
	通 学	1,256	1,251	4	0.4	27,313	27,112	201	0.7
	合 計	23,141	22,941	199	0.9	158,892	157,413	1,478	0.9
阪 神 電 気 鉄 道	定 期 外	5,018	4,957	61	1.2	28,119	27,737	382	1.4
	定 期	2,741	2,716	24	0.9	28,520	28,165	354	1.3
	通 勤	2,426	2,404	21	0.9	22,092	21,813	278	1.3
	通 学	314	311	2	0.9	6,427	6,351	76	1.2
	合 計	7,759	7,673	85	1.1	56,639	55,902	737	1.3

- (注) 1 収入は百万円未満を、人員は千人未満をそれぞれ切り捨てて表示しています。  
2 阪急電鉄の定期外収入・人員には、P i T a P a 区間指定割引運賃適用の収入・人員を含んでいます。  
3 阪急電鉄・阪神電気鉄道ともに、第1種鉄道事業及び第2種鉄道事業の合計です。

## (5) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	25年3月期 第1四半期末	24年3月期末	比較増減
資 産	2,253,174	2,274,380	△ 21,205
負 債	1,720,832	1,749,578	△ 28,746
純 資 産	532,342	524,801	7,540
うち、株主資本	529,758	521,421	8,337
うち、その他の包括利益累計額	△ 10,260	△ 8,128	△ 2,131

## (6) 連結有利子負債

(単位：百万円)

	25年3月期 第1四半期末	24年3月期末	比較増減
借 入 金	1,018,380	1,037,328	△ 18,947
社 債 (注)	122,000	137,000	△ 15,000
リ ー ス 債 務 (注)	10,483	9,319	1,163
有 利 子 負 債 計	1,150,864	1,183,647	△ 32,783

(注) 連結貸借対照表上、1年内償還予定の社債については、流動負債の「その他」に含まれており、リース債務については、流動負債・固定負債の「その他」に含まれています。